

山 広報 平成30年(2018)

1 月号 No.727

きなりの郷とは… 純粋、素朴、まざりけのないと言った意味で、「本物の暮らしのある村」という願いを込めた言葉です。



きなりの郷

下 女 山

あげましておめでとごうございします。



保育所 もちつき

新年のご挨拶



下北山村長

南 正文



あけましておめでとうございます。

村民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、村政運営にひとかたならぬご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、「下北山村地方創生総合戦略」の事業として、「自伐型林業」や「*下北山むらコトアカデミー」の事業を進めてきましたが、新たに、「*コワーキングスペース BIYORI」の整備や、NPO法人サポートきなりによる「ぼこぼん図書館」も開設されました。「BIYORI」も「ぼこぼん図書館」も多くの人が集う場となって欲しいと願うところであります。

また、イベントとしては、移住体験ツアーや田植え体験イベント、キッズバスフィッシングスクール等が初めて開催され、好評を博しました。

さて、本村では今、林業再生のために担当者と協力隊が、村で「自伐型林業」を根付かせよう、下北山村の林業を活性化させようと、一生懸命取り組んでいます。今年4月頃には、林産加工所が再稼働の予定です。製材、加工、販売と6次産業化を目指し、下北山産の木を使った商品がこの林産加工所から市場に出回るようになればと願っているところです。

また、「下北山むらコトアカデミー」では、1期生の受講者が下北山村に対し様々な関わりを持ってきています。遠く首都圏に住んでいても下北山村を応援してくれています。2期生の受講者も下北山村に大きな関心を持っておられ、今後、どのような関わりを持ってくれるのか楽しみであります。

移住定住のハードルは高いですが、移住しなくても地域に関わりたいたいと思っている人は結構いるものです。アカデミーでメイン講師をお願いしている月刊ソトコト編集長の指出一正さんは、こういう人たちを関係人口と呼んでいます。指出一さんによると、「関係人口として関わった人が移住定住するのは少なくなく、同じように「しまコトアカデミー」を行っている島根県では、想像以上に関係人口の方が島根に戻ったり、移り住んだりしている。」とのこと。本村でも、この関係人口を、どんどん増やしていきたいと考えています。

教育では、昨年、新たに中学3年生による海外短期語学研修を実施いたしました。今後は、小中合同教育を実施していくために、保育所も加えた保・小・中合同校舎の整備を行ない更なる教育の充実努めたいと思っています。そのためにも、学校、庁舎等の公共施設再整備計画を今年3月までにとりまとめていきたいと考えています。

保・小・中合同校舎については、現在のところ下北山中学校敷地内での建設を検討しています。庁舎については、保・小・中合同校舎が、中学校敷地内に建設することが正式決定した場合には、小学校への改修移転を検討していきたいと思っています。

そして、年末に大変嬉しいニュースが入ってきました。12月6日・7日に開催された日本最大級のキャンプ場予約サイト「なっぷ」主催の「アウトドア イノベーション サミット」において、下北山スポーツ公園キャンプ場が予約件数で西日本部門の第1位に輝きました。

年々、人口の減少が続き、村にとっては引き続き厳しい状況ではありますが、「住みたい。住んで良かった。」「行きたい。行って良かった。」そういつただけのような村づくりのために努力してまいります。村民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、輝かしい新年が村ならびに村民の皆さまにとりまして夢と希望に満ちた素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

*「下北山むらコトアカデミー」……………首都圏の人たちが下北山村のことを学んだり研究する講座

*「コワーキングスペースBIYORI」……………事務所や会議室を共有しながらそれぞれが仕事をおこなうスペース

新年のご挨拶



下北山村議会議長

山 本 敏



明けましておめでとうございます。村民の皆様にはすがすがしく新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

平素は議会に対しまして、温かいご支援とご理解を賜りますこと厚く御礼申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界のあちこちでは相変わらず紛争が続き、日本の上空をミサイルが通過するという異常な事態になっております。国内では衆議院選挙が行われ、野党の顔ぶれが一新されました。政治がどのように変わるのかを注視していきたいと思っております。台風や異常気象による災害も相次ぎましたが、下北山村は大きな被害を受けることなく過ごしてきたことを、被災された地域の皆様には申し訳ありませんが、ありがたいことだと思っております。しかしながら、災害はいつどこで起きるかわかりません。その為の備えを行政と共に押し進めていくよう今後も努力して参ります。

また、村では地域おこしのための施策を進めております。議会はそれらの課題を注意深く検証すると共に、その実現を目指し協力して参ります。

昨年の様々な出来事の中で、特筆されますことは、なんとと言っても天皇陛下の御譲位問題であり、それに至る日程もすでに発表されております。

今後私たちはマスコミ等に惑わされることなく、静かにその時をお迎えすることが肝要ではないかと思っております。

本年も国・地方とも相変わらず前途多難が予想されますが、少しでも紛争のない明るく平和な社会でありますよう祈ると共に、村民の皆様のご健勝・ご多幸を祈念して新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



下北山村消防団長

栗本武平



新年明けまして、おめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じ上げ心よりお慶び申し上げます。

平素は、私ども消防団に対しましてご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様方のご協力によりこの一年間、本村では火災・自然災害の被害もなく団員一同、喜んでいきます。

昨年は全国的に記録的な集中豪雨による被害が各地で相次ぎ、本村にも台風が数回上陸、接近しましたが、警報ができれば本部に於いて警戒態勢を取り、村民の方々に少しでも安心できる環境づくりに努めております。

われわれ消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念と、「皆様の生命、身体、財産をあらゆる災害から守る」ため、団員一丸となって、村民の皆様から信頼され、今後益々複雑多様化する災害に的確に対処できる知識と技術の習得に努め、災害のない地域づくりに貢献して参ります。

消防技術の訓練成果を競う「消防操法大会」では、一昨年に出場した本村消防団の奈良県大会優勝に続き、昨年は吉野支部代表の大淀町女性消防隊が全国47都道府県代表の中、14位と大健闘し、培った技術と精神力、団員同士の固い絆を本村消防団員と同様に消防団活動へ引き継いでくれると思います。

消防団員の構成については、年々高齢となり団員数も減少していますが、少数精鋭で団員がどんな災害が発生しても対応できるよう常に引き締めていきます。

下北山村が災害のない安全、安心して暮らせる村であるようお願い、来るべき年が村民の皆様方にとって幸多い年であることを祈念申し上げますと共に団員諸君のご健勝を祈念し、さらなる活躍を期待して新年のご挨拶といたします。

平成29年 第4回

下北山村議会
12月定例会を開催

第4回村議会定例会が12月13日開催されました。

村長の行政報告、議員の一般質問に続き、議案の審議では、一般会計補正予算の専決処分の承認が1議案、条例の制定、改正が5議案、条例の廃止1議案、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算の8議案が上程され、「下北山村議会議員の議員報酬に関する条例の一部を改正する条例」の1件が否決されましたが、他の議案は原案どおり可決されました。議案は次のとおりです。

改正を行うものです。

(※) 人事院勧告とは国会・内閣等に対し、国家公務員の給料や労働条件の改善を勧告することを指します。

★下北山村議会議員の議員報酬に関する条例の一部を改正する条例(否決)

★下北山村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

★教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

★下北山村コワーキングスペースB・Y・O・R・Iの設置及び管理に関する条例の制定について

★下北山村立山びこ留学寮条例及び集団宿泊教育共同利用施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

★専決処分の承認を求めることについて
・下北山村一般会計補正予算(第3号)
456万3千円が追加補正されました。主な内容は、衆議院議員選挙に係る費用です。

★下北山村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
平成29年人事院勧告(※)により国家公務員の給与と改定と同様に

ウスの工事費で5千950万円、公営住宅修繕費で160万5千円等です。

★平成29年度下北山村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
769万9千円が追加補正されました。
主な内容は国民健康保険の県単位化に伴うクラウドシステム導入委託料604万円2千円です。

★平成29年度下北山村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)
101万3千円が減額補正されました。主な内容は医療用衛生材料費の医薬品等の減額です。

★平成29年度下北山村簡易水道特別会計補正予算(第2号)
12万円が追加補正されました。主な内容は財産管理費の電気料です。

★平成29年度下北山村池の平公園管理運営特別会計補正予算(第2号)
104万3千円が追加補正されました。主な内容は池の平ハウスの修繕料です。

★平成29年度下北山村スポーツ公園管理運営特別会計補正予算(第2号)
144万9千円が追加補正されました。主な内容は、きなり館管理事業費の備品購入費等です。

★平成29年度下北山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
68万円が追加補正されました。主な内容は後期高齢者医療広域連合納付金です。

★平成29年度下北山村介護保険特別会計補正予算(第2号)
748万1千円が追加補正されました。
主な内容は施設介護サービス給付費及び償還金等です。

★平成29年度下北山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
68万円が追加補正されました。主な内容は後期高齢者医療広域連合納付金です。

《一般質問は次号に掲載》



農産物品評会開催

11月28日(火)、スポーツ公園若者センターにおきまして、農産物品評会が開催されました。

今年の天候は9月上旬までは雨が少なく、一転10月に入ると長雨が続き、特に台風21・22号の影響による大量の降雨となりました。日照不足もあり、病害虫の発生や生育の停滞など、作物の管理作業には随分悩まされたかと思えます。このような難しい気象条件の中、農産物品評会に出品頂き誠にありがとうございました。

今回の出品数は、根菜類、イモ類、葉菜類、果実類、きのこ類等67点の出品で、101点だった昨年を大幅に下回る結果となりました。内訳としては、天候の影響により不作となった、白菜・ネギ等の葉物類が大幅に減っており、秋の天候不順の影響を受けなかったお茶が増えていました。

また、出品者数は昨年より5名減少して30名となり、出品数・出品者数共に減少しましたが、天候不順等の営農条件が非常に厳しい中、高品質の作品が多かったように感じます。特に特賞の長ネギは身が長く形が揃った素晴らしいものでした。

平成29年度 下北山村 農産物品評会審査結果

特賞	交付賞名	作物名	住所	受賞者名
	奈良県知事	長ネギ	上桑原	上垣内 敏子

最優秀賞	交付賞名	作物名	住所	受賞者名
	下北山村長	ジャバラ	上桑原	面村 嘉之

優秀賞 (7名)	交付賞名	作物名	住所	受賞者名
	奈良県南部農林振興事務所長	丸大根	上桑原	福本 利通
	五條吉野農業推進協議会長	さつまいも	佐田	田中 佳子
	下北山村議会議長	じゃがいも	浦向	田ノ下 美津代
	吉野地方農業委員会協議会長	お茶	佐田	山岡 美智枝
	下北山村農業委員長	キウイ	小井	岡部 フミヨ
	奈良県農協同組合代表理事賞	ゆず	池峰	本田 美紀子
	吉野地区営農連絡協議会長	里芋	大里	平尾 千代子

交付賞名	作物名	住所	受賞者名
一等賞	大根	上桑原	福本 フサ子
二等賞	お茶	大里	大崎 邦子
三等賞	しいたけ	上桑原	栗本 武平

交付賞名	作物名	住所	受賞者名
努力賞	こんにゃく芋	上桑原	濱田 博子
努力賞	下北春まな	上桑原	山岡 ゆき
努力賞	紅茶	大里	仲 照代



農業委員会による餅つきも行われ、盛り上がりました！



今後とも村として、農産物を作って頂いた農業者の皆様のためにも、農業振興・獣害対策に力を入れていきたいと思えます。審査は南部農林振興事務所により、外觀・色つや・揃い・病害虫の有無などを重点に慎重かつ厳正に行われました。各賞を受賞された方々は、次のとおりです。

奈良・下北山むらコトアカデミー 第4回講座開催

12月9日(土) 東京都江東区のgiftlab G A R A G Eを会場に「奈良・下北山むらコトアカデミー」第4回講座が開催されました。

今回は、「むらコト」プランの作成にあたり、前回の現地インタビューシップで研修した結果を整理し、村でやれるコト、首都圏でやれるコト、それらの促進活動をどう行うのか3つの班に分かれて方向性を決める研究を行いました。

また、今回はアカデミーの一期生(武田さん)が参加し、自身が昨年のアカデミーでプラン作成に当たって思ったことなどを説明して頂きました。今回はテレビ電話でメンターとの通信も取り入れられました。次回の最終講座には、いよいよ受講生と下北山村との関わりを具体化したプランの発表となります。

*メンター仕事、人生の指導者



スポーツ公園キャンプ場が西日本ナンバーワンに!

12月6・7日に東京でアウトドア・イノベーション・サミット2017が開催され、日本最大級のキャンプ場予約サイト「なっぷ」のなっぷAWARDにおいて西日本のキャンプ場予約件数ナンバーワンに下北山スポーツ公園キャンプ場が選ばれました! バリエーション豊かなコテージに絶景が眺められるダムなどが若い人やキャンパーに人気があります。



野崎和生さん、木谷勇三郎さんが表彰されました!



下北山村表彰条例に基づく表彰式が12月13日に役場議場にて行われました。

この表彰は、様々な分野で

功績のあった方を表彰審査委員会が推薦し、村長が選考決定するもので、この度「地方自治功労者」として野崎和生さん、「自治消防・選挙管理委員・防犯安全功労」として木谷勇三郎さんが受賞されました。

野崎和生さんは、昭和62年に下北山村議会議員に初当選以来、21年4ヶ月の長きにわたり、村議会議員を務め、その間、議長、副議長等を歴任

され、地方自治の発展に尽力されました。この功績により、本年春の叙勲で「旭日双光章」を受章されました。また、「村づくりは人づくり」の信念から「つちのこ共和国」を主宰して各種イベントを開催、下北山村の知名度を高めるとともに、人材育成にも大きく貢献されました。

木谷勇三郎さんは、昭和51年に下北山村消防団に入団され、平成21年には団長に就任し通算39年間自治消防の発展に尽力されました。

また、平成15年に下北山村選挙管理委員に選出され、同年12月からは委員長に就任し、平成27年12月までの12年間委員長として活躍されました。

一方、吉野地区防犯協議会地域安全推進委員会の下北山支部長、下北山村駐在所連絡協議会会長、安全で住みよい村づくり推進協議会会長として、地域の安全防犯活動に現在も活躍されています。

「前鬼の里探索ツアー開催」

11月26日(日)「前鬼の里探索ツアー」が開催されました。

村外の方を対象に下北山村の魅力を広くPRするため、「前鬼の里探索ツアー」が開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、県内外を合わせ15名の参加者が集まり、前鬼不動七重の滝を見学、その後前鬼集落跡からトキノキ巨樹群を巡り、小仲坊の当主五鬼助義之さんによる「修験道や前鬼」についてご講話に耳を傾けました。

また今回は、ボランティア団体「しもまる」に参画して頂き、下北山村のPRや特産品の紹介、前鬼の伝説をもとにした絵本の朗読が行われました。参加者からは、ツアーを通して、前鬼の歴史や大自然に感銘を受け「次は七重の滝を近くで見たい。」と今後のイベントを望む声をいただきました。



協力隊のつづやき

その58

今月号の協力隊のつづやきは
牧と工藤が担当します。

工藤：こんにちは工藤ちゃんです。予想以上の早さで秋から冬へとなり気温も低めで推移し、少し播種を遅らした春まなはと言うと12月中旬現在ハウスものは予定通りですが、露地ものは生育状況が良くないようです。それで保温のために不織布を掛けて様子を見ています。

11月には農産物品評会がありました。出品数も昨年の3割減と気候の影響をまろに受けた結果と



なりました。また相変わらず鳥獣による被害も多く、個人的には電気柵が設置されている佐田ではダイコンとジャガイモ、寺垣内ではダイズがサルに喰われました。気候の変化や鳥獣害に対応していかざるをえない農業の厳しさを改めて思い知らされた一年でした。

牧：クリスマスにお正月と食べ物の誘惑も多い季節。今年こそ控えめにと自分に言い聞かせるも、ふと気が付くと12月のうちにつるした「つるし柿」の食べ頃はいつだろうかとそればかり気にしている牧です。

さて、ここ最近の活動では、障子張り替え作業のお手伝いをさせて頂いています。協力隊は未経験の者ばかりだったので、張り替えたそばから破いて、また張り直しなんてこともしばしば(笑)今ではみんな手際良くこなせます。現在、障子張りの応援隊がおらず、事務局メンバーが事務仕事の合間に作業をさせて頂いている状況で、お電話頂いてから少しお時間を頂いておりますが、お困りの方はお気軽にご相談ください。そして、求む！障子張りの応援隊！！



その他、下北山への移住定住を支援することを目的に2016年に発足しました「下北山村地域受入協議会」の活動として、移住希望者の方への相談対応、村内の案内を随時実施し、11月には和歌山県紀美野町「NPO法人きみの定住を支援する会」、那智勝浦町色川地区の視察に行っていました。今後の活動に視察での学びを活かしたいと思えます。



寒い日が続きますが体調管理にお気をつけください。本年もよろしくお願いいたします。

応援隊・有償運送実績

	10月	11月
応援隊	9件	16件
有償運送	93名	69名



挑戦する下北山村 ⑬

自伐型林業で地方創生

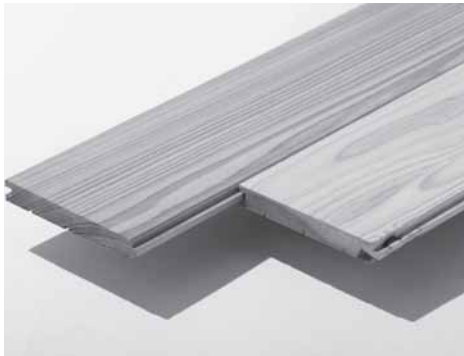
森は下北山村の宝、無限の財産です。下北山村では今後、村の92%を占める山林を活用するために自伐型林業に取り組んでいきます。

前回に引き続き林産加工所の話を少しします。今回の事業は、山元の事業である自伐型林業とセプトにすることで地方創生拠点整備交付金を頂き林産加工所の再稼働が目指されている所です。この事業は平成27年度に策定された下北山村総合戦略に基づいて進められております。本事業などを通して、林業就業者数の増加や安定した素材生産量をあげることが目標となっています。

この加工所の再稼働にあたってラインナップした主な設備を少し紹介いたします。まずはメインの機械である帯鋸機ですが、1mの大径木でも対応できる近隣にはないハイ



製材所の帯鋸機



モルダーで加工された内装材

スペックの機能を有するものを設置いたします。

次は丸棒加工機を導入します。これは間伐材や小径木を皮付きのまま円柱の丸棒に切削することが可能な機械です。

3つ目が6軸のモルダーという機械で壁板や床板などに加工することが出来ます。最後にレーザー加工機（プリンター）です。これは主に木材にデザインしたものをレーザーで焼き付けることで様々な製品に対応することが出来ます。主に看板などを想定していますが、小物に焼き付けることも可能です。

これから建築用材だけでなく

様々なところで村の木が使用できるようにになります。様々なアイデアをいただけたらと思います。

【製材所の再稼働にあたり

指定管理者を公募します。】

公募要件等詳細は役場産業建設課までお問い合わせください。

6-00016

活動報告

自伐型林業研修もいよいよ後半に突入いたしました。12月に開催された搬出研修では、林内作業車を使用し搬出の研修を行いました。林内作業車には約1トン積み込むことができます。作業道を敷設することで上げ荷（下にある物を上に引く張ること）ができるので安全に作業をすることが出来ます。しかしながらウインチに手が巻き込まれたり、無理な引っ張りにより作業



ウインチによる上げ荷作業

車が転倒するおそれもあるので慎重な作業を教えてくださいました。今回は年始めに岡橋さんによる作業道研修が開催され研修が終了となります。本事業は来年度も継続して行う予定ですので、自分で少し山の整備をしてみたい、週末に林業をしてみたいという方がおられました。是非参加してください。



林内作業車

矢奥隊員卒業

昨年1月から、林業の協力隊員として勤務していただいております矢奥哲宣隊員が、一年の雇用期間満了に伴い卒業することとなりました。今後は大阪に戻る予定ですが、下北山村や林業とも関わりを続けていくと約束されています。

1年間という短い期間ではありましたがありがとうございました。

更生保護女性会 研修報告

平成29年11月20日(月)に、更生保護女性会を始め保護司会並びに各地区婦人会の代表の総勢7名で、奈良市内の児童自立支援施設「奈良県立精華学院」へ研修に行きました。

精華学院は、子どもの不良行為及び家庭環境上の理由により、生活指導等を要する子どもに対して、個々の子どもの状況に応じて必要な指導を行う施設で、子どもの気持ちを尊重した指導で、子ども関係を通じた信頼関係の形成と構築をすることで「生きる力」を養い、希望を持って社会に自立させようとする先生方の姿を見て共感いたしました。



講師の先生を囲んで

こんにちは 保健師です



新年明けましておめでとうございませう。今年もみなさまが健康に一年を過ごせますよう、保健福祉課一同祈っております。

さて、お正月も終わり、少し食べ過ぎたかな?という方もおられるかと思ひます。今がチャンス!という事で、これを機会に今年1年の健康について考えてみませんか?

◆「1年の健康づくり」相談会

相談内容はどんな些細なことでもかまいません。相談員には、心の専門家である臨床心理士が対応いたします。また、お話しいただいた内容は秘密厳守されます。

- 【相談員】 臨床心理士2名
- 【日時】 1月13日(土)
午前9時～午後3時
- 【場所】 下北山村保健センター
- 【お申込み】 保健センター
☎610015 (要予約)

◆「こころもからだも若返る!」健康ダイエットセミナー

7回目は「お持ち帰り夕食作り」ということでカロリー控えめで栄養満点!な料理を教えて頂きます。「冬は太るわ〜」そんな方こそ是非ご参加ください!

8回目は毎年大人気企画のバイキング企画です。みなまでご飯を食べながら楽しく学びましょう!

- 【日時】 1月16日(火)
午後1時30分～午後3時
- 8回目

- 【日時】 2月6日(火)
午前11時～午後1時
- 【場所】 下北山村保健センター
- 【対象】 村内在住の方
- 【参加費】 無料
- 【お申込み】 ※要事前申込み
保健センター ☎610015
送迎あり(要予約)
- ※健康スタンプラリー対象事業
※先着20名様限定

◆「椅子ヨガ&顔ヨガ教室」

「何か体を動かしたいけど膝が...」「本格的な運動はちょっと...」という方におススメの椅子ヨガに、今回は小顔効果や小じわ予防に効果のある顔ヨガも同時開催し

ます!送迎もありますので、是非ご参加ください。

- 【講師】 榎井紋子先生
- 【日時】 1月31日(水)
午後1時30分～午後3時
- 【持ち物】 動きやすい服、タオル、飲み物
- 【場所】 下北山村保健センター
- 【送迎】 要事前申込み
- 【お申込み】 保健センター
☎610015
- ※健康スタンプラリー対象事業

クリスマス会【育児サークル】



12月20日保健センターにてクリスマス会(育児サークル)が行われました。クリスマスケーキを作り皆で食べて盛り上がりました!

駐在さん通信



新年あけまして
おめでとうございます
本年もよろしく
おねがいいたします

☆1月10日は 「110番の日」です

110番は警察への緊急の通報手段です。
事件や事故に遭遇したり、事件や事故を目撃されたら通報をよろしく願います。
なお、相談などの緊急を要しないものは「#9110」で警察につながりますので、こちらの番号をご活用ください。

☆クリスマス作戦を 実施しました

去る12月5日、下北山村地域安全推進委員会・交通安全協会・同母の会・駐在所連絡協議会が合同で年末の恒例行事「クリスマス作戦」を実施いたしました。
年末を迎えて、村内に居住されている80歳以上の高齢者のお

宅を訪問して、手袋などのさやかなプレゼントをお渡しし、特殊詐欺などの各種犯罪被害の防止、交通事故防止を働きかけました。
おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでもお元気でいてください。



☆冬の道路にご用心

朝晩の急激な冷え込みによる凍結や積雪など、冬の道路には危険がいっぱいです。
冬用タイヤ装着やチェーンの携行と合わせて時間に余裕を持った行動を心がけて安全運転をお願いいたします。

老朽化して危険な空き家の解体費用の一部を補助します。

☆申請するには？

解体前に事前申請し、村の調査で補助の対象物件であることの認定を受ける必要があります。

※業者による解体に限りません。

※危険度判定で所定の評価点以上の物件に限りません。

☆補助額

工事費用の2分の1(限度額30万円)

(例) 工事額50万円の場合↓補助額25万円

工事額80万円の場合↓補助額30万円

【問い合わせ先】役場住民課 ☎610001

吉野税務署からのお知らせ

平成29年分所得税及び復興特別所得税の確定申告期間は、平成30年2月16日(金)から平成30年3月15日(木)までです。

【確定申告会場開設日】

平成30年2月16日(金)

○税務署では2月15日(木)までは通常の業務体制で事務を行っています。

○以降に確定申告の相談をしていただくようお願いいたします。

○確定申告会場は、混雑状況によっては長時間お待ちいただくことがあります。

○申告会場では、16時まで申告相談の受付をしていますが、混雑状況により早めに終了する場合がありますのでご了承ください。

都市鉱山からつくる！

みんなのメダルプロジェクトにご協力ください



東京オリンピックピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、東京2020大会に向けて、使用済小型電子機器等から回収する金・銀・銅のリサイクル金属を活用したメダル制作プロジェクトを開始しています。

村におきましても、不用になった携帯電話の回収ボックスを役場窓口を設置しておりますので、何卒ご協力をお願いいたします。

《問い合わせ先》

下北山村役場住民課

☎610001

都市鉱山メダル連携委員会事務局

☎057010351530



